

## 地域の会 質問・意見書

日付：2024年1月16日

氏名： 本間 保

新潟県 柏崎市 刈羽村

に対する 質問

能登半島地震による大きな被害を目の当たりにして、改めて大きな不安を持っております。特に、柏崎刈羽で中越沖地震を上回る地震が起き、原発に重大な事故が起こった時のことを考えると、現在の避難計画の欠陥について改めて考えざるを得ず、不安や疑問は更に大きくなっております。複合災害における避難計画を中心に、以下の点についてご回答をお願いします。なお、現在の避難計画についての疑問を呈しておりますので、「現在の避難計画に従って、きちんと避難できるように、避難計画の改善を図ってまいります。」というようにいつものおざなりな回答はやめて頂き、質問の真意を良く理解して具体的に回答して頂きたいと思っております。

1 今回の地震で、津波警報が発出され、海岸の皆さんを中心に、多くの市民村民が避難しましたが、自動車での避難に際して、あちこちで渋滞が発生したと聞いております。

柏崎市刈羽村で津波避難の際、渋滞した場所は何処で、どの程度のものであったか把握しているでしょうか。把握しているようでしたら教えて頂きたい。

2 今回の地震で柏崎の揺れは中越沖地震と比べると小さかった訳ですが、北陸自動車道は閉鎖となり、国道8号線は通行止めとなりました。西側への避難経路は閉じられてしまった訳です。この状態で原発事故が起きた際、西に避難する人の行動はどのようにするのか具体的に示して頂きたい。今後検討してなどということでは遅すぎます。明日柏崎が同じ状態になったら住民はどう避難せよというのか明確に示して頂きたい。

3 他の方向についても、状況により道路が通行不能になり、避難もままならなくなると想定されます。原発との複合災害の時、現在の避難計画による避難経路で順調に避難できると考えるのは無理がありますが、具体的に避難路確保のためにどのような対策あるいは避難路を現在考えているのか示して頂きたい。

4 今回のような地震と原発事故の複合災害の時、自宅が損壊すれば屋内退避自体が困難であるし、自宅が残っていても、余震の恐れが強ければ屋内退避は困難だと思われそうですが、行政としてはそれでも屋内退避を指示する予定なのか？そうでなければ、どのような方法を考えているのかご回答を頂きたい。

5 同じく、津波警報が出されても、地震直後であれば避難所も含めて屋内に留まることは危険だと考えますが、具体的にどこに避難することを考えているのか。特に大雪などで移動できない場合も含め具体的に回答いただきたい。

6 家屋の崩壊などで閉じ込めなどの被災者を救助することが困難になることが想定されますが、原子力災害と同時発生で、線量レベルが上昇する中で、救助隊は駆け付けると考えているのでしょうか。あるいは市町村による自力による救出など対策は考えられているのでしょうか？福島原発事故では津波被災者の多くが、救助されないまま見捨てられざるを得なかった反省を踏まえて回答して頂きたい。

7 1月10日の地域の会において、今回の能登半島地震を踏まえ、現在の避難計画の問題点について、行政の皆さんにお尋ねしました。しかし、皆さんの回答には避難計画の不十分さや問題点などについて批判的な見解は聞かれず、現在の避難計画をどのように修正していくのかという言及さえありませんでした。住民が避難できるか否かという本質な点には触れず、参集が素早くできたなどというレベルの話しかなかったと記憶しております。原子力規制委員会は能登半島地震に関して、屋内退避が困難であることを認識し、検討する姿勢を示しているのに、住民に近い立場にある県や市村が避難計画のこの点についても(全く?)危機感を持たないというのは、基本的姿勢が誤っているのではないかと思います。すなわち、国の方針に唯々諾々と従うだけで、住民の安全の問題として避難計画を考えるという姿勢が全く不十分なのではないかと思いますが、どのようにお考えでしょうか。

## 原子力規制庁 に対する質問

### 8 追加の質問です

規制庁に質問します

これまでも地震の際の避難については、非常に困難になるという事で、私たちは様々な機会に自治体に質問して参りました。内閣府は避難の方法を「基本は自家用車や支援者の車」と言っていますし、柏崎市、刈羽村の計画でも、基本は自動車だと決めています。志賀原発における避難計画でも輪島市や穴水町、志賀町などから最大15万人の避難を想定しています。今回の能登半島地震で道路が寸断された状況を見れば、とてもこの避難方法は現実的とは思えません。

また、規制委員長は能登半島地震の実情を見て、屋内退避が実質的に困難であることから、避難計画についても検討が必要だというような発言がありました。これも、実は能登半島地震の惨状を見るまでもなく、普通に考えれば地震の際の屋内退避は極めて困難だという事は想像できる事で、私たちは、以前からその点を指摘してきました。今回ようやく規制委員会も地震の際の屋内退避の危険性、困難性に気が付いたようですが、この点も、現在の避難計画の大きな問題の一つであります。

今回の地震で、更にいくつもの問題が明らかになってきました。これらの点について、柏崎の避難計画を根本的に考え直す必要があると思いますが、そのような事は検討されているでしょうか。